

十三西中島で観察された生き物の記録 コース No.6

種名とともに、状態を表す記号を付記した。

1: 葉、卵 2: 花、幼虫、幼鳥 3: 果実、蛹 4: 実生、成虫、成鳥 0: その他 植: 植栽

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。

※2分の1地域メッシュコード（総務省）で分割し、そのコード番号の下に記載したNo.

は旧「みどり生き物会議」で使用した大阪市域500mメッシュナンバーである。

ほぼ全域でみられた野草: アレチハナガサ、オオニワゼキショウ、コマツヨイグサ、シナダレスズメガヤの一種、シロツメクサ、セイタカアワダチソウ、セッカニワゼキショウ、セイタカヨシ、ニワゼキショウ、ハナハマセンブリ、ホソムギ、マメグンバイナズナ、メドハギ、ヤマアワ、ヨシ、ヨモギ

日時: 2019年6月16日 10:00~15:15 天候: 晴れ

調査者: 岩永圭司 北川ちえこ 谷尚子 中谷憲一 中西有美 榎元慶子 松川欣二

松本卓也 一般参加者: 1名 事務局: 片岡

場所: 阪急「十三駅」~淀川河川敷右岸~地下鉄「西中島南方駅」・マップNo.2,3,4

コメント: 千里で事件がありサミット関係の影響もあり朝から多くの警官が十三駅に待機し物々しい雰囲気の中で調査が始まりました。河川敷では初めてヤマアワが咲いているのを見ました。予想通り川岸では実生樹木(特にアキノレが多い)、草地ではニワゼキショウなどの背丈の低い草本がいろいろ見られました。今回はコケを研究している学生も入り、調査の幅が広がりました。

